

生物はなぜ老い、そして死ぬのか

と き 10月21日(土) 14時開場 14時30分開演

と ころ 夙川公民館ホール 西宮市羽衣町1-39 (阪急「夙川」駅より南へ徒歩約3分)

講 師 東京大学定量生命科学研究所・教授 **小林 武彦 先生**

生物学で「わからないこと」があると、その進化について考えます。理由は、生物は物理現象や化学反応と違い、進化によってつくられたものだからです。「わからないこと」の大元を辿れば、それがどうして必要だったのかがわかるのではないかと考えるのです。生物はなぜ老いそして死ぬのか？という疑問についても同様です。全ての生物は必ず死ぬので、「死」の起源を遡ると生物が誕生する前の段階まで行き着いてしまいます。矛盾するように聞こえますが、「死」は生物の「誕生」から関わっていたようです。

一方「死」の前に訪れる「老い」については、ヒトと他の生きものではかなり違うので、こちらは「死」に比べるとかなり最近に現れた、しかもヒト特有のもののようなのです。

本講演では「老い」と「死」の存在意味について生物学的な視点から考えてみます。



■ 小林 武彦 先生 プロフィール

九州大学大学院修了(理学博士)、基礎生物学研究所、米国ロシュ分子生物学研究所(製薬企業)、米国国立衛生研究所、国立遺伝学研究所等を経て現職。日本学術会議会員。生物科学学会連合代表、日本遺伝学会会長などを歴任。静岡県三島市在住、伊豆の海、箱根の山、富士山をこよなく愛する。著書に「なぜヒトだけが老いるのか」(講談社現代新書)、「DNAの98%は謎」(講談社ブルーバックス)、「寿命はなぜ決まっているのか」(岩波ジュニア新書)、ベストセラー「生物はなぜ死ぬのか」(講談社現代新書)等がある。

主催 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部

お問い合わせは協会事務局 伊地知・山田まで

TEL: 078-393-1840 E-mail: idichi@doc-net.or.jp

後 援 西宮市、芦屋市、西宮市教育委員会、
芦屋市教育委員会、神戸新聞社

【 F A X 返 信 0 7 8 (3 9 3) 1 8 2 0 】 ※切り取らずこのままFAXしてください

兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部設立第43回支部総会 市民公開講演会

() 人 参加します

所 属 () お名前 ()

T E L () F A X ()